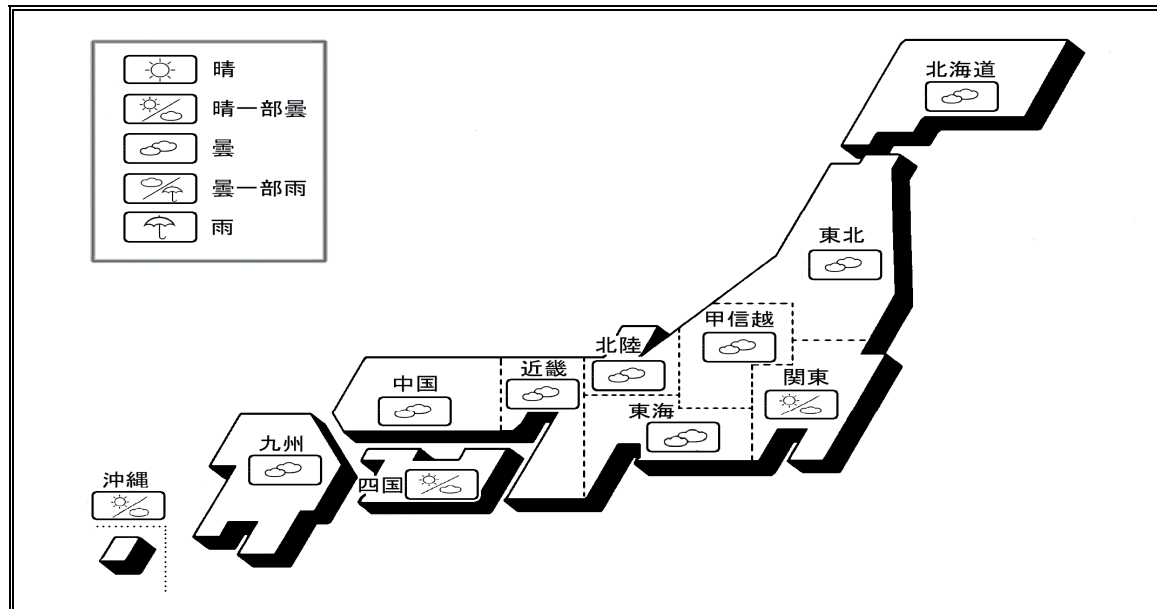


地方経済天気図

～持ち直しの動きが広がる～



各地の景況感



- ・北海道...個人消費、設備投資は持ち直し。輸出はやや弱含み。
- ・東北、甲信越...生産活動は上向き。住宅建築は足許減少ないし弱含み。
- ・北陸...個人消費は緩やかな持ち直し。生産活動はやや弱含み。
- ・東海...設備投資は持ち直しの動き。生産活動は回復に向けた動き。
- ・近畿、九州...輸出、生産活動は回復に向けた動きないし持ち直し。住宅建築は足許減少ないしやや弱含み。



- ・関東...個人消費、輸出は持ち直し。公共工事は足許減少。
- ・四国...個人消費、設備投資は持ち直し。輸出は足許減少。
- ・沖縄...個人消費は好調を持続。台風により観光は好調な動きが一服。

地域別天気マークの推移・詳細（2018年9月）

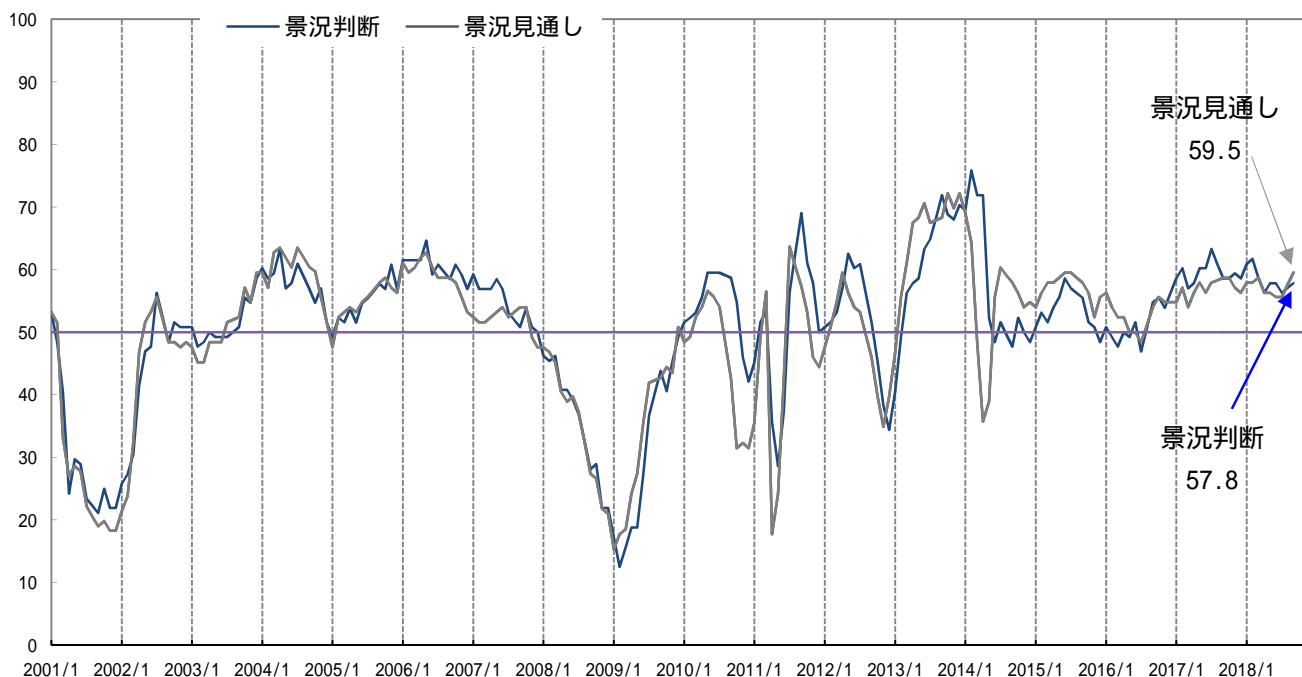
	2017年				2018年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	9月
北海道		→										
東北		→										
関東			→									
甲信越		→										
北陸		→										
東海		→										
近畿		→										
中国		→										
四国		→							→			
九州		→										
沖縄		→										

	景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
北海道									
東北									
関東									
甲信越									
北陸									
東海									
近畿									
中国									
四国									
九州									
沖縄									

(注) 矢印は、前月から天気マークが変わったことを表す。

<参考> 地方経済天気図D I^(注)の変化と景況判断

	2018年		
	6月	7月	9月
景況判断：持ち直しの動きが広がる	57.8	56.3	57.8
景況見通し：持ち直しの動きが広がっているが、災害の影響が懸念される	55.6	55.6	59.5
個人消費：大型小売店販売が底堅く推移し、乗用車販売も増加	52.3	46.1	59.4
住宅建築：持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少し、弱含み	52.3	52.3	46.9
設備投資：製造業、非製造業ともに投資を積み増す動きが広がる	53.1	56.3	65.6
公共工事：都道府県や市町村を中心に底堅い動き	51.6	54.7	51.6
輸出：石油製品、鉄鋼が増加したものの、化学製品、船舶が減少	52.9	54.8	48.1
生産活動：窯業・土石製品、電子部品・デバイスが増加したものの、化学、電気機械が減少	54.7	51.6	47.7
観光：台風や豪雨により観光地への入込数が伸び悩み	51.7	54.3	50.0
雇用情勢：新規求人数が増加、有効求人倍率が上昇し、改善	58.6	57.8	60.9



(注) 地方経済天気図D Iとは、本調査に回答した全国地方銀行協会加盟行の景況や需要項目等に関する現況判断(好転・不変・悪化)を数値化したもの。算式は以下のとおり。

$$D I = \frac{\text{「好転」} \times 1.0 + \text{「不変」} \times 0.5 + \text{「悪化」} \times 0.0}{\text{回答銀行数}} \times 100$$

各地の状況

北海道



北海道の景況は、輸出がやや弱含んでいるものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、持ち直し。

個人消費は、記録的大雨に伴う客数の減少などから百貨店販売が減少したものの、新型車投入効果から乗用車販売が増加するなど、持ち直し。住宅建築は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少するなど、減少傾向。設備投資は、観光客受入態勢強化に向けた投資着工がみられるなど、持ち直し。公共工事は、災害復旧工事の反動により市町村が減少するなど、減少傾向。輸出は、ホタテガイが増加したものの、自動車の部分品、船舶が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、窯業・土石製品が増加したものの、石油製品、電気機械が減少するなど、横這い。観光は、外国人客が増加するなど、好調。雇用は、人手不足が続き、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられているが、地震災害の影響が懸念される。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

東 北



東北の景況は、住宅建築が足許減少したものの、輸出が持ち直し、生産活動が上向くなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したものの、大型小売店販売が伸び悩み、ホームセンター販売が減少するなど、やや弱含み。住宅建築は、貸家、分譲住宅が減少するなど、足許減少。設備投資は、製造業で新工場建設投資がみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、独立行政法人等、県、市町村が増加したものの、国が減少するなど、弱含み。輸出は、繊維製品、船舶が減少したものの、非鉄金属、一般機械が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、パルプ・紙・紙加工品、金属製品が減少したものの、窯業・土石製品、鉄鋼、電子部品・デバイスが増加するなど、上向き。観光は、宿泊客が増加したものの、観光地への入込客が伸び悩むなど、概ね横這い。雇用は、人手不足から有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。

関東

関東の景況は、公共工事が足許減少したものの、個人消費、輸出が持ち直すなど、回復。

個人消費は、大型小売店販売が増加し、コンビニエンスストア販売も増加、乗用車販売も増加するなど、持ち直し。住宅建築は、貸家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、都県が増加したものの、独立行政法人等、市町村が減少するなど、足許減少。輸出は、鉄鋼、医薬品、半導体等製造装置が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、食料品、化学が減少したものの、石油製品、電子部品・デバイスが増加するなど、緩やかな持ち直し。観光は、宿泊施設の客室稼働率が高水準を維持するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、製造業や医療・福祉を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇、現金給与総額も増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								


甲信越

甲信越の景況は、住宅建築が弱含んだものの、設備投資が持ち直し、生産活動が上向くなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、弱含み。設備投資は、製造業で工場新設投資や情報化投資、非製造業で情報化・省力化・合理化投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、独立行政法人等が減少したものの、県、市町村が増加するなど、上向き。輸出は、紙類、プラスチック、鉄鋼が増加するなど、持ち直し。

生産活動は、金属製品、電気機械、情報通信機械が増加するなど、上向き。観光は、外国人客が増加したものの、台風や猛暑の影響により国内客が伸び悩むなど、横這い。雇用は、情報通信業や卸売業・小売業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準を維持するなど、改善傾向。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								

北 陸

北陸の景況は、生産活動がやや弱含んだものの、個人消費、設備投資が持ち直しの動きとなるなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、飲食料品を中心に大型小売店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、緩やかな持ち直し。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも増加するなど、足許増加。設備投資は、能力増強投資や省力化投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直しの動き。公共工事は、国、県、市町村が増加したものの、北陸新幹線の大型工事の反動減から独立行政法人等が減少するなど、足許減少。輸出は、一般機械、地場産業の眼鏡・眼鏡枠が減少するなど、伸び悩み。

生産活動は、パルプ・紙・紙加工品、窯業・土石製品、輸送機械が減少するなど、やや弱含み。観光は、観光地や温泉地への入込客が減少するなど、弱含み。雇用は、建設業、製造業、医療・福祉を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇するなど、改善。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

東 海

東海の景況は、設備投資が持ち直しの動き、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が増加し、コンビニエンスストア販売も増加、乗用車販売も増加するなど、やや上向き。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、省力化投資がみられるなど、持ち直しの動き。公共工事は、高速道路や学校関連の大型工事の増加などにより、足許増加。輸出は、半導体等電子部品が減少したものの、石油製品、電気機器が増加するなど、持ち直しの動き。

生産活動は、化学、電気機械が減少したものの、石油製品、窯業・土石製品、一般機械、電子部品・デバイスが増加するなど、回復に向けた動き。観光は、外国人客を中心に宿泊客が増加するなど、上向き。雇用は、製造業や医療・福祉を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

近畿

近畿の景況は、住宅建築が足許減少したものの、輸出、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、豪雨や猛暑による客足の減少などから大型小売店販売が減少したものの、乗用車販売が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、足許減少。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国、独立行政法人等、府県、市町村が増加するなど、下げ止まり。輸出は、石油製品、鉄鋼、原動機が増加するなど、回復に向けた動き。

生産活動は、繊維、プラスチック製品が減少したものの、金属製品、窯業・土石製品、輸送機械が増加するなど、回復に向けた動き。観光は、台風の影響などから入込客や宿泊客が減少するなど、弱含み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、現金給与総額が増加するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢	
									

中 国

中国の景況は、輸出が足許減少したものの、設備投資、生産活動が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、豪雨や猛暑の影響などから大型小売店販売が減少したものの、乗用車販売が増加するなど、横這い。住宅建築は、持家、分譲住宅が減少するなど、減少傾向。設備投資は、製造業で能力増強投資、非製造業で出店投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、県が減少するなど、足許減少。輸出は、化学製品が増加したものの、半導体等製造装置、鉄道車両が減少するなど、足許減少。

生産活動は、一般機械、電子部品・デバイスが減少したものの、化学、窯業・土石製品が増加するなど、持ち直し。観光は、観光地や温泉地への入込客が伸び悩むなど、盛り上がりを欠く。雇用は、医療・福祉や卸売業・小売業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられているが、豪雨災害の影響が懸念される。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

四 国

四国の景況は、輸出が足許減少したものの、個人消費、設備投資が持ち直しの動きとなるなど、回復。

個人消費は、家電大型専門店販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、弱含み。設備投資は、製造業、非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直しの動き。公共工事は、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少するなど、弱含み。輸出は、化学製品や船舶が減少するなど、足許減少。

生産活動は、食料品、非鉄金属、輸送機械が減少したものの、プラスチック製品、金属製品、一般機械が増加するなど、持ち直しの動き。観光は、台風や豪雨により観光地や温泉地への入込客が伸び悩むなど、足踏み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、現金給与総額が増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

九 州

九州の景況は、住宅建築がやや弱含んだものの、輸出が回復に向けた動き、生産活動が持ち直すなど、持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したものの、飲食料品を中心に大型小売店販売が減少するなど、やや弱含み。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、やや弱含み。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国が減少したものの、県、市町村が増加するなど、横這い。輸出は、化学製品が減少したものの、電気機器、輸送用機器が増加するなど、回復に向けた動き。

生産活動は、化学、鉄鋼が減少したものの、金属製品、電子部品・デバイス、輸送機械が増加するなど、持ち直し。観光は、台風や豪雨により入込客数が伸び悩んだものの、外国人客が増加するなど、上向き。雇用は、宿泊業・飲食サービス業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

沖 縄

沖縄の景気は、個人消費が好調を持続したものの、観光は好調な動きが一服するなど、拡大に一服感。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心にスーパー販売が減少したものの、好調な中元商戦により百貨店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、好調を持続。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、足踏み。設備投資は、建築着工床面積が減少するなど、足踏み。公共工事は、独立行政法人等、県が増加したものの、国、市町村が減少するなど、足踏み。輸出は、再輸出品、金属鉱・くずが減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、金属製品、窯業・土石製品が減少したものの、食料品、化学、石油製品が増加するなど、横這い。観光は、台風の影響などから国内客・外国人客ともに減少するなど、好調な動きが一服。雇用は、有効求人倍率が上昇、完全失業率が低下するなど、改善。

先行きは、拡大の動きに一服感が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
↓ 							↓ 	